

# シルバー 世代がや

2015.3 141号



▲北沢川緑道  
(撮影：落合泰造)

- ◆慣れ仕事 心のゆるみ 事故のもと
- ◆安全は 心と時間の 余裕から
- ◆食、眠、運動しっかりと 気力充実 気分爽快
- ◆危険予知 シルバー世代の 知恵活かし

————— 平成 27 年度「安全標語」入選作品

## ★ 目 次 ★

- 2P……平成 26 年度 活動報告と来期への課題
- 3P……知っておこう「第 3 次中期 5 か年計画」とは？ / 「支えあい事業」って、なあに？
- 4P……平成 26 年度 仕事別グループ交流会議開催「質の良い喜ばれる仕事を目指そう！」 / 「あったかサロン」便り
- 5P……あなたの仕事場拝見 ひだまり友遊会館（旧老人会館） / 26 年度 地域活動連絡会議とボランティア活動状況 / 堺市シルバー人材センター 視察研修で来訪
- 6P……安全委員会からのお知らせ「緊急時の連絡体制を確立しよう」 / 安全標語入選作品発表  
平成 26 年度 シルバー傷害保険対象・事故一覧 / 平成 26 年度 発注者訪問報告
- 7P……会員ページ / 東京大マラソン祭り 2015 にボランティアで参加 / 近場の史跡探索を楽しむ
- 8P……事務局便り（さわやか相談・事業報告・定時総会開催予定のお知らせ・同好会ガイド）





## 平成26年度の活動報告と来期への課題

### ◆地域組織・会員部会 松南 美代子

- ① 5年に1度実施の「会員意識調査」を行い、回答2,090通の要点を「シルバーせたがや140号」に掲載。
- ② 26年度は、地域活動連絡会議の出席者数減少傾向が見られた。来期は「組長連絡会議」等で、出席者を増やす方策を練り上げていきたい。
- ③ 各組ともボランティア活動に様々な形で参加する姿勢がみられた。来期も引き続き、関連する情報の提供や、一般会員の参加を呼びかけていきたい。
- ④ 組長研修会・班長研修会・5年次・2年次研修会を計画通り実施してきたが、27年度は研修内容の洗い直しを行いたい。5年次・2年次の研修会に関しては、参加者増を目指して呼びかけていきたい。

### ◆広報・広聴部会 木村 万紀子

- ① 様々な職種の会員さんの仕事場拝見ルポを広報紙に毎号掲載し、就業の実態や想い等を紹介。就業意欲の促進や外部の方へのPR効果を広げていきたい。
- ② 昨年初めて開催した「就業感謝のつどい」は、発注者様へ感謝の気持ちを伝え、発注者様から感謝のメールを頂き、林家木久扇師匠の講演も大好評で外部へのPR効果も大きかった。来期も、「就業感謝のつどい」開催予定なので、PR方法等を工夫していきたい。
- ③ インターネット利用者増加傾向に合わせて、広報紙と連動しながら素早い情報発信を行うホームページ作成にも力を入れていきたい。

### ◆安全委員会 前田 俊夫

- ① 今期は、安全パトロールを猛暑の8月と厳寒の2月の2回に増やし、植木、除草、公園清掃等の屋外就業職種を重点に実施した。昨夏流行したデング熱、茶毒蛾、蜂等や、熱中症への注意を促し、2月はインフルエンザと降雪等による自転車の就業途上事故防止への注意喚起を行った。
- ② 各委員は財団等の研修会に出席し、気が付きにくい事故例等学び、会員の安全啓発に努めた。
- ③ 重大な事故については、様々な研修会開催時等の場を利用して、多くの会員に周知徹底したい。
- ④ シルバー傷害保険対象事故は安全委員会に報告され、委員が直接本人に会い、現場検証も行い、事故分析を行って一覧表にし、広報紙に掲載して啓発。
- ⑤ 会員の「健康体操」を行う計画であったが、会場が取れず実現できなかった。来期に実現したい。

### ◆就業適正化部会 橋本 誠

- ① 今期は、「会員意識調査」と一緒に「未就業会員の意向調査」を実施した。未就業理由の70%が、他で就業・体調不良・家庭の都合・就業したくない等の本人都合によるものであった。来期も調査は継続し、個人意見も参考に就業率上昇に繋げていきたい。
- ② 当センターでは、公平な就業機会提供のため同一職種・同一職場の更新は4回までという就業適正化ルールを設定している。この4回更新適用除外職種が一部にあるが、5年を超えて就業中の会員がいる4職種を選び、事務局担当職員に聞き取り調査を行った。その結果、発注者側の要望・仕事内容の特質等ですぐ交代出来ないケースもあった。来期も担当職員と共に検討し、就業適正化実施を推進したい。
- ③ 就業改善計画に基づく個別年次計画の達成を目指したができなかった。来期は「第3次中期5か年計画」に基づく「就業改善推進計画」に取り組みたい。

### ◆家事援助・女性活動部会 伊藤 正子

- ① 「あったかサロン」を5月に開設。ボランティア会員増強、運営上生じた諸問題の対応策を毎月部会で検討、その決定内容をボランティア協力員に周知し意思統一を計った。その結果、良い雰囲気サロンの継続的運営状況がで利用者から好評を得た。
- ② 女性会員増強策として“女性会員募集チラシ”を作成。各行事等で配布し、区内街角の掲示板にも掲示してPR。毎月の入会者数が微増傾向にある。
- ③ 女性活動部会として、女性会員拡大策のため、当センターの「職種別・男女別就業者数」調査を実施。

女性会員の就業の現状や課題を調査した。

- ④ 新事業「支えあいサービス事業」実施により、会員の就業拡大、当センターの地域貢献の活動が広く認識されることを目標に活動を進める。
- ⑤ 「あったかサロン」を他地域へも拡大するため、設置場所ごとに拠点作りを検討。
- ⑥ 女性会員増員のため、③の資料を参考に就業別研修・全体研修・女性会員交流会等を実施したい。





## 「第3次中期5か年計画」とは？

当センターでは、平成17年に「第1次中期5か年計画」、平成22年「第2次中期5か年計画」を策定し、事業運営の指針としてきました。以来10年にわたる計画の継承を前提に実施状況を検証し、社会情勢の変化も考慮して平成27～31年度の「第3次中期5か年計画」を策定しました。

本計画を検討するため、昨年5月から委員会を組織し調査を進め、広報紙を通して会員の皆様や事務局職員の意見も集め、下記のとおり策定しました。

### ●第3次中期5か年計画の策定の趣旨

社会の高齢化が進む中、健康な高齢者が仕事を通して地域貢献している当センターは、社会の支え手として重要な位置を占めています。成長を遂げてきた成果を踏まえ、今後の基本的な方向と推進計画を定め、より発展的な運営を図るための計画策定です。

### ●計画策定の基本的な考え

- ・「自主・自立」「共働・共助」の理念実現のため、センターの基本方針と運営の指針を継続。
- ・第1次及び、第2次中期5か年計画の継承と新就業改善推進計画との整合。
- ・就業並びに社会奉仕活動を通じて地域社会の活性化に寄与。

- ・計画の期間は、5年間（平成27～31年度）。適正就業を基本とした運営を目指す。
- ・分野別事業及び目標数値の見直し。世田谷区と連携したセンター運営とする。

### ●センター運営の基本方針（従来同様の3項目）

### ●運営の指針（従来同様の6項目）

### ●センターを取り巻く状況と課題

センターの課題を以下の3分野に分け、合計26の主要テーマについて検証を行い、各年度ごとの今後5年間の方向を示しました。

- (1)組織運営の分野：①組織運営の円滑化 ②総会・理事会 ③理事 ④専門委員会・作業部会 ⑤地域組織の活性化 ⑥社会奉仕活動 ⑦事務局の充実と職員資質向上 ⑧区との防災協定締結
- (2)事業運営の分野：①会員の増加 ②適材適所な人材活用 ③受注の拡大 ④就業率の向上 ⑤独自事業 ⑥仕事別グループ ⑦就業開拓 ⑧指定管理者制度への対応 ⑨適正就業・会員活用
- (3)その他の分野：①広報活動 ②研修 ③安全就業 ④調査研究・財政基盤の安定 ⑤施設の活用 ⑥親睦活動 ⑦地域間交流事業 ⑧イベント事業 ⑨高齢者支援事業

## 「支えあいサービス事業」って、なあに？

区から指名を受けてスタートした「支えあいサービス事業」とは、どのような事業なのでしょう。

介護保険法の改正により、「日常生活の支援」を必要とする高齢者世帯、単身世帯で、要支援者及びそれと同等な方をサポートする「支えあいサービス事業」が、区の事業として発足、当センターが受託しました。

あんしんすこやかセンターが個人発注者さんの相談を受け、該当者と判断したら、当センターに仕事の依頼を出します。その内容は、1回30分以内をめぐり、以下のサービスに限り実施します。

**サービス内容：**①洗濯物干し ②洗濯物取り込み ③同たたみ ④買物同行 ⑤掃除

発注者自己負担は、1回500円（30分以内）、買物同行のみ30分を超えたら千円で、この利用者負担額が就業会員の配分金となります。

就業は、月～金曜日9時～17時内で、就業可能な曜日・日時を会員に登録しておいてもらい、会員コーディネーターが該当する会員に要請し、あんしんすこやかセンター担当者と共に発注者さんと顔合わせ



▲第1回就業会員募集説明会（12月16日開催）

せをして契約がまとまれば就業します。

発注者宅で呼鈴を数回押しても、電話を掛けても応答がない場合は、家の周囲等から観察して安否確認を行い、あんしんすこやかセンター・当事務局に連絡します。このような安否確認のみでも、1回のサービス実施として扱われます。

2月に初契約が、1件ありました。

就業希望の方は、事務局へ「支えあいサービス協力会員票」を提出し、指定された説明会や研修会等に参加して就業内容を理解し、このサービスの登録をします。自宅近くで依頼があれば、コーディネーターから要請の連絡があります。

2月25日、第3回「仕事別グループ交流会議」が宮坂区民センター大会議室で開催されました。

事務局も交え、様々な職種の会員が一堂に会し、互いの職種の実態を披露してコミュニケーションを深め、体制が整っている仕事別グループの事例等を参考に、グループ化を進めて行こうというものです。

会長、常務理事から、何故グループ化を進めるのかについて講話がありました。最近では就業の質に厳しい目が注がれ、自転車等整理誘導の契約数の削減や、公園清掃時の清掃前・終了後の写真添付要求、就業会員交代要求等が発注者様から来ています。同じ職種の会員同士がグループを作り、事務局や発注者とのコミュニケーションも密になれば、情報を共有し、マニュアル作成や研修会開催等で一定水準の仕事の質が維持でき、一定の要件を満たしたグループは発注者との直接交渉や（当センターの了承を得て）、仕事の配分、作業時間、配分金までグループ内の打ち合わせで行うことが可能になります。これは、会員増に比した事務局の人手不足解消の手助けにもなります。

今回は、植木、ポスター掲示、施設管理、公共施設清掃、マンション清掃、指定管理（自転車）、自転車等整理誘導、家具転倒防止器具取付、襖・障子貼り、家事援助サービス、公園清掃、シルバーバス

更新、除草の13グループから各2名が参加し、就業内容や思いを披露。さらに以下の3つの事例発表が行われました。



**襖・障子貼りグループ**(中沢厚氏)は、元プロ4名を含む14名のメンバーで、毎週世話役2名が仕事配分をし、各会員から仕事終了



報告を受け、年3回全体会議+懇親会を開催、年1回研修会を開催してグループ化が達成されています。



**除草グループ**(藤井秀信氏)は、実作業研修はなく一人就業が多いので、新人指導の機会もあまりない。グループ化の糸口もまだないとのこと。まず先輩による実作業指導をグループ化の一步にしてはどうかという助言が出席者から出ました。



**施設管理グループ**(岩田朗氏)は、3人が1日交代就業のため互いが顔を合わせる機会がないので、月1回打ち合わせ会を開催。来館者に案内をする接客業なのに外の評価が入ってこないで、町会の人、組長、支援理事等と、年2回ぐらい飲み会を開催し、評価等をきいています。

グループ化への助言や、区の当センターへの意向を探る質問等、出席者一同の意見交換は自由闊達で、グループ相互の理解が進んだ有意義な会議になりました。

## あったかサロン便り



★★ボランティア会員さん大募集！  
半日でも、体験してみましよう！★★

「あったかサロン」は、来訪者数も11月84名、12月96名と、会員以外の近隣の常連さんも増え、冬の植木の管理法や俳句、手話の基礎等を学んだり、オセロゲームに年齢を忘れてたり、釣りの話で盛り上がりたり、話題も多岐にわたっています。

12月は、チラシ等を材料に作ったおしゃれなツリーやリースを飾り、クリスマス会を開催。年末には満員御礼の中、歓喜の歌を全員で合唱しました。

年初にはカルチャー教室の方の抹茶のお点前があり、お正月気分を満喫しました。

港区シルバー人材センターの事務局長さん、理事さんが視察にみえて、他区にも同様の活動が広がる気配を感じます。外は寒くても中はホカホカ暖かいサロン。

あなたも一度は足を運んでみませんか。





受付就業の岡田充夫氏

当会館は、区内の60歳以上の方、または一般団体が、体操・ダンス・音楽・囲碁等のクラブ活動やレクリエーション活動を通して仲間づくり等に利用していただく区の施設（原則無料）です。

図書室は、高齢者対象の情報発信基地（区内大学の公開講座・市民大学・シニアカレッジ等の案内、施設の行事予定、様々な趣味の会の資料等を常備）で、インターネットも利用できます。

現在、男6名、女1名の当センター会員が1日2名態勢でシフトを組み就業しています。平日就業時間は17：10～22：10、休日は早出8：30～17：15、遅出は17：10～22：10です。

施設管理業務が主で、受付業務と、館内巡回業務（窓の施錠、ガス・電気や忘れ物等のチェック、会議室の

机椅子の整頓等）を担当しています。

私は平成23年に入会し、24年4月から当会館に就業、同年代の方々との会話を楽しています。

一昨年3月まで当会館に生涯大学の事務局があり、講義も行われていましたが、昨年4月以降生涯大学は「せたがやがやがや館」に移り、生涯大学修了生による「自主研究会」の活動だけが引き続き行われています。

来館者には、こちらから明るく声掛けをするよう心掛けています。高齢の利用者が多いので、体調不良を訴える方もいて、迅速かつ適切な対応が必要です。皆様が楽しく活動できるよう、少しでも支援できればという気持ちで日々業務に当たっております。

（岡田充夫）

## 26年度地域活動連絡会議とボランティア活動

台風による中止組以外は、全組で地域活動連絡会議が開催されましたが、参加者減少傾向が見られました。11組の会議に出席された竹内会長は、広報紙の記事等への率直な質問等を受けて、大変心強く感じたとの感想を理事会で報告されました。

ボランティア活動への取り組みも活発です。地域の町会や警察署等と繋がりができた組は、ボランティアの要請「〇月〇日に、△名をお願いします」が入るたびに、参加可能な会員を集めるのが大変とのこと。多くの組では、ボランティア活動の主な参加者は組長と班長という実態で、一般会員の参加者を募る連絡網作りが課



▲地域イベントに参加する祖師谷・成城組

題になっています。

船橋組は、地域活動連絡会議の案内ハガキにボランティア活動参加要請を載せたら、数十名の参加者リストを得られたそうです。

## 堺市シルバー人材センター 視察研修で来訪



1月21日、大阪府堺市シルバー人材センターの森昌幸総務委員長ほか4名が来訪されました。少子高齢化が進むなか、シルバー人材センターは、地域社会との連携を軸に活動し、かつ、区や市等の公共団体と協力しながら自主的に地域に寄与することが大切であるとの共通認識の確認や、派遣事業参入の可否等、多岐にわたり意見交換ができました。

当センターの「第3次中期5か年計画（案）」や、「あったかサロン」の活動状況の紹介、新たな事業展開をするにはどうすべきか等で話が盛り上がりました。

## 安全委員会からのお知らせ

## 緊急時の連絡体制を確立しよう

昨年10月、植木剪定作業中の会員が転落する事故が発生しました。当委員会はこの事故分析を行うとともに、植木グループに再発防止対策の検討を要請、事故に関する質問書も出し、後日リーダー、副リーダー、会長、事務局長も交え質疑応答を行いました。

安全対策見直しを検討する中で、事故発生時の連絡体制が十分確立されていなかった問題点が判明しました。本人は一人暮らしで、植木グループに提出されていた連絡先は自宅で、事務局が娘さんと連絡を取るのにかなりの時間を要しました。

他の職種でも、就業会員、所属するグループ、事務局間の連絡体制が確立されていないと、就業途上の自転車による事故発生や、就業中のトラブル発生の折、事務局が敏速に対応できません。

植木グループは、就業中には裏面に緊急連絡先(2名以上)を記載した会員証及び保険証のコピーをパスケースに入れ必ず所持することにしました。

会員の皆様、就業の際は「会員証」と共に「保険証のコピー」、「緊急連絡先を記載したメモ等」を常に携帯するようにお願いします。

### 安全標語入選作品

<p style="text-align: center;"><b>佳作</b></p> <p>無理するな これくらいはと力みすぎ</p> <p style="text-align: right;">中島 正江</p>	<p style="text-align: center;"><b>優秀</b></p> <p>危険予知 シルバー世代の知恵活か</p> <p style="text-align: right;">宮崎 茂</p>	<p style="text-align: center;"><b>佳作</b></p> <p>よく動き 休養もとり 腹八分</p> <p style="text-align: right;">広瀬 進</p>	<p style="text-align: center;"><b>優秀</b></p> <p>食、眠、運動しっかりと 気力充実 気分爽快</p> <p style="text-align: right;">野村 榮</p>
<p style="text-align: center;"><b>佳作</b></p> <p>行き帰り 危険な死角 再チェック</p> <p style="text-align: right;">平塚郁太郎</p>	<p style="text-align: center;"><b>優秀</b></p> <p>安全は 心と時間の 余裕から</p> <p style="text-align: right;">川名 享子</p>	<p style="text-align: center;"><b>佳作</b></p> <p>ゆとりもて 出会いがしらの 曲がり角</p> <p style="text-align: right;">高野 和子</p>	<p style="text-align: center;"><b>優秀</b></p> <p>慣れ仕事 心のゆるみ 事故のもと</p> <p style="text-align: right;">永光 省三</p>

平成26年度 シルバー傷害保険対象・事故一覧表 (27年2月25日現在)

月日	性別	年齢	発生区分	就業内容	事故発生状況	傷害内容	入・通院日数
12/9	男	73	就業中	駐輪場管理	地下への階段入口で、地下の会員に空き状況を確認するため勢いよく振り向いたら、右足が地面の段差にひっかかりバランスを崩し転倒。右腰を強打。	右大腿骨骨折	入院30日 通院30日
12/10	男	72	就業中	除草、掃き掃除	後ろ向きで掃き掃除中、3cm程とび出していた排水用マンホールの蓋に踵が当たりバランスを崩して転倒。臀部を強打。	臀部肉離れ	通院5日
12/12	男	71	就業中	公園清掃	公園内清掃中、ハイスピードで走ってきた自転車とぶつかり、その勢いで転倒。左半身を強打。	左半身打撲挫傷	通院10日

### ☀ 平成26年度 発注者訪問報告

9月～11月、全理事による発注者訪問を実施しました。35の公社・公共施設、21の民間企業を訪問し、会員の就業実態に関する感想や当センター・就業会員への要望等をお聴きし、少しでも就業職種拡大へ

繋がる打診や要請も行いました。

会員への評価は概ね良好でしたが、一部に問題を指摘されるケースもありました。就業拡大に繋がる話も出ましたが、安全面や就業適正化の面で現行では受注が難しいケースも多く、当センターの実態のさらなるPRが必要です。





## 私のパソコン ライフ

砧組 南河 利洋



今や、ほとんどの人が携帯電話やスマートホン、インターネットを使用されていると思います。私は、それらにつけ加えて仕事、ボランティア、勉強、スポーツ、趣味、買い物、まだまだ恋愛、等のためにという意義をつけて、パソコンをフル活用しています。

夕食後2時間程度、毎日パソコンを使用しています。用途は、友人とのメールのやり取りやインターネット検索、様々なデータや写真等の保存、年賀状等の作成にも活用しています。

日記代わりにブログで趣味の「魚釣り」や「旅の思い出」を書いていますと、インターネットで読んだ同じ趣味の方が、世代を超えてコメントを寄せてくれます。ライン、ミキシー等を使う情報交換で、友人がたくさんできました。

テレビ会議のように、家族や友人とスカイプを使い画像を見ながら話ができるので、お互いの近況が分かり安心できます。いつまで続けられるかわかりませんが、パソコンを上手に使って楽しく生活したいと思っています。

## 悩むのも楽しい

烏山組 武田 晴子

子供の頃から絵を描くことが好きで、油絵は高校の美術部で始めました。諸々の事情から「老後の楽しみにとっておこう」とぶつり辞め、結婚・子育てと大忙しの時を経て、40数年ぶりに再開。久しぶりの絵の具の匂いに胸が高鳴りました。



油絵サークルに参加して7年。年1回開催するサークルの油絵展を目標に描いています。

真っ白なキャンバスに向かい「何を描くか」で悩み、色をのせてから「どう描くか」で悩み、“自分の表現への永遠のテーマに向かって頑張っているんだ”と、60代末で息切れ気味の自分を励ましている昨今です。今回、世田谷区民絵画展で、銅賞をいただき、絵筆を持つ手に小さな春が訪れたみたいです。

現在は広報部会に所属し、「シルバーせたがや」の表紙や、昨年配布した「35周年記念号」の表紙や誌面デザインを担当しています。

## 東京大マラソン祭り2015に、ボランティアで参加

2月22日、東京大マラソン祭り2015が開催され、当センターからも、田村青年隊隊長、竹内会長、青山事務局局長ほか30名がボランティアとして参加。有明イーストプロムナード15カ所のごみ仕分け処理案内を担当し、リターナブル容器（汚れが付いたシート部分を剥せる）の分別廃棄方法の説明役を務めました。

テロ対策のランニングポリスが話題になりましたが、13時30分、中野区シルバー人材センター会員に引き継ぎ、無事任務を終えました。（衣笠 俊一）

リターナブル容器の処理法を説明



## 近場の史跡探索を楽しむ



12月7日、等々力・深沢組の会員有志9名が、当センター前に9時30分集合。吉川達興会員のガイドで、世田谷八幡宮から順に、豪徳寺、世田谷城祉公園、代官屋敷、世田谷ポロ市、区立郷土資料館、松陰神社等を楽しみながら巡りました。

八幡宮の境内の狛犬がどれも子犬と一緒にとか、豪徳寺の三重の塔の壁面にある十二支の「子」には招き猫が同居している等、今まで気が付かなかった発見が沢山あり、大変得した気分になれた半日でした。ガイドさんご苦労様。

## ★会費納入のお願い★

平成26年度の会費(年1,000円)が未納の方は、早急に宮坂本部または烏山支部へお納めください。



# 事務局 だより



## 配分金振込日予定

配分金振込みは支払日に指定口座へ入金されますが、給与振込みと違い、全ての口座へ午前中に入金されるわけではありません。ご了承願います。

- ・3月分…4月14日(火)
- ・4月分…5月19日(火)
- ・5月分…6月12日(金)
- ・6月分…7月14日(火)

## 就業についてのご相談

- ◆理事による「さわやか相談窓口」は毎月第2月曜日に行われます。  
※(祭りと重なっている場合は翌日)

### 4月～6月

- ・4/13(月)・5/11(月)・6/8(月)
- ・開設時間：10～12時 13～15時  
(お一人の相談時間は30分以内です)
- ・場 所：宮坂本部

- ◆事務局窓口では、窓口開設中はいつでも相談できます。

## 平成26年度事業報告

平成26年度4月～1月までの事業実績  
(対前年度同月比)

1. 会員数 3,178人(19人増)
2. 受注件数 18,932件(190件減)
3. 契約金額 10億3,672万円余(1,127万円余減)
4. 就業率 75.3%

会員数は、平成26年度も引き続き微増傾向は続いている。受注件数は、家庭の仕事が増えてきていたが、10月からその勢も陰りが見えてきており、受注件数全体も対前年比で減少に変化してきている。契約金額は、累計で公共はプラスで民間がマイナスとなっており、今年度末では、微減になるものと予測している。

## 表紙の写真解説

桜の名所である北沢川緑道は、昭和50年代に川を暗渠とし、上部を区民の憩いの散歩道になるよう整備されました。その後、平成7年から下水道局落合水再生センターからの高度処理水を、北沢川緑道に流してせせらぎを作りました。

生き物や自然にやさしいせせらぎにはやがて水草などが群生し、魚や昆虫、白鷺などが集まってきていて、都会の街中とは思えない癒の空間として多くの人に親しまれています。せせらぎは、目黒川緑道にもつながるまで約2.3kmあります。そのせせらぎの巡回清掃はシルバー会員が担当し、次代に受け継がれる自然環境づくりに貢献しています。(世田谷区北沢公園事務所長の田尾所長のお話より)



## 平成27年度 定時総会開催予定のお知らせ



(昨年総会)

### ■6月26日(金) ■世田谷区民会館ホールで開催。

定時総会は、決算等の承認や新役員選任の決議のほか、平成26年度の事業報告、平成27年度の事業計画及び予算を報告します。総会は、全ての会員による会員総会です。就業仲間や地域会員のみなさんをお誘いのうえ、是非ご出席ください。出席者には、記念品が渡されます。

- ★開催通知は、開催2週間前までにはご自宅へ送付します。総会当日は、開催通知の封筒をご持参ください。

## 会員募集

### ◆シルバーボウリング同好会

- ・場所 オークラボウル
- ・毎月第3金曜日 午後4:30～活動。
- ★連絡先 鈴木尊康 ☎090-2175-4615

### ◆囲碁同好会

- ・囲碁の好きな方、実力無関係です。
- ・場所 宮坂区民センター 2階 和室
- ・毎月 第2火曜日と第4土曜日 午後1時～5時
- ★連絡先 田村進 ☎090-7856-3519

### ◆植物研究同好会

- ・草花・低木の手入れ管理、実習など。
- ★連絡先 前澤一福 ☎090-7417-7420

## 世田谷区シルバー人材センターの楽しい広場 みんな集まれー!

### ◆ゴルフ同好会「けやき会」

- ・年4回「富士笠間ゴルフ倶楽部」コンペを開催。
- ★連絡先 田村進 ☎090-7856-3519

### ◆カラオケ同好会

- ★連絡先 ・(烏山) 林 ☎3300-1776
- ・(松陰神社) 辻谷 ☎3303-4212
- ・(船橋) 佐藤 ☎3483-0203

### ◆ボランティアグループ「青年隊」

- 「多摩川河川敷清掃活動」「東京マラソン」などに参加
- ★連絡先 田村進 ☎090-7856-3519

### ◆社交ダンス同好会

- 「いきいきせたがや文化祭」出演が目標
- ・場所：宮坂区民センター 3階 中会議室
- ・毎週月曜日 午後6時～8時30分
- ★連絡先 西村光代 ☎3420-1007

